

# 実践校が取り組み発表

工ネ教育

60教員ら  
人参加 松江でフォーラム

エネルギー環境教育に  
ついて考える「エネルギー  
環境教育研究フォーラム」

「ムーン島根」（山陰中央  
新報社後援）が十四日、  
松江市朝日町の松江テラル  
サであり、県内の小、中、  
高校の教員や教育機関の  
職員ら六十人が出席。江  
津工高（江津市）や北条  
中（鳥取県北栄町）など  
エネルギー教育実践校の  
発表に聞き入った。

経済産業省資源エネル  
ギー庁の委託事業。両校  
と広島県福山市の内海小  
が取り組みを発表。町内  
に風力発電施設がある北  
条中は施設に自分たちで  
デザインした絵を描いた  
ほか、環境改善点検査を  
つづし、生徒と教職員が

一体となって節電や節  
水、画面印刷など資源節  
約に取り組んだ。

また、江津工は中学校  
との連携で行うロボット  
づくり教室でエネルギー  
源として電池、太陽電池、  
燃料電池などの違いを体  
験させ、新エネルギーへ

の取り組みの足掛かりと  
していることなどを発  
表。

ほかに「山陰の地域に  
根差したエネルギー環境  
教育の普及に向けて」山  
陰エネルギー環境教育研  
究会の発足と地域での協  
力関係」をテーマに、  
秋重幸邦島根大教授らと  
交えて意見交換も行わ  
れ、参加者はメモを取り  
ながら熱心に聞き入っ  
た。



江津工高の舟木健教諭の実践発表に聞き入る県内の教育関係者